

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

思考スキル

○情報じょうほうを獲得かくとくする

- ・問題文から情報じょうほうや問題かぎの条件じょうけんを正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

○再現さいげんする

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示しじ通りの操作そうさを正しく行う

○調べる

- ・方針ほうしんを立て、考えられる場合をもれや重複さかなく全て探さがし出す
- ・書き出すことを通じて、法則ほうそくを発見する

○順序じゆんじょ立てて筋道すじみちをとらえる

- ・変化する状況じょうきょうを時系列じけいれつで明らかにする
- ・複雑ふくざつな状況を要素ようそごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

○特徴とくちょう的な部分ぶぶんに注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立きわだった部分(計算式の数、素数そすう、約数、平方数、…など)に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性たいじゆうせいに注目する
- ・規則きそくや周期に注目する

○一般化いっぱんかする

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式みちびを導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

○視点してんを変える

- ・図形を別の視点で見ると見る
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

○特定じようきようの状況かうていを仮定する

- ・「極端きょくたんな場合を想定して考える(もし全て○○なら、もし○○がなければ、…など)
- ・不足おびなを補ったり、余分よぶんを切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数ふくすうのものが移動いどうするとき、特定のものを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答かいとうの範囲はんいや大きさの見当をつける

思考スキル

○知識^{ちしき}

- ・ 情報を手がかりとして、持っている知識^{ちしき}を想起する
- ・ 想起した知識^{ちしき}を正しく運用する

○理由

- ・ 筆者の意見や判断^{はんだん}の根拠^{こんきょ}を示す^{しめ}
- ・ ある出来事^{げんじょう}の原因^{げんいん}、結果^{けいこ}となることを示す^{しめ}
- ・ 現象^{げんじょう}の背後^{はいご}にあることを明らかにする

○置き換え^か

- ・ 問いを別の形で言い表す
- ・ 問題^{しやうきやう}の状況を図表などに表す
- ・ 未知のものを自分が知っている形で表す
- ・ 具体的な数^ひと比を自由に行き来する

○比較^{ひかく}

- ・ 多角的な視点^{してん}で複数のことがらを比べる^{くら}
- ・ 複数のことがらの共通点^{きゆうてん}を見つけ出す
- ・ 複数のことがらの差異^{さいい}を明確^{めいかく}にする

○分類^こ

- ・ 個々の要素^こによって、特定のまとまりに分ける
- ・ 共通点^{きゆうてん}、相違点^{さういてん}に着目して、情報を切り分けていく

○具体・抽象^{ちゆうしやう}

- ・ 文章から筆者の挙げる例、特定の状況^{しんじやう}や心情を取り出す
- ・ ある特徴^{とくちやう}を持つもの^{しめ}を示す
- ・ 個々の事例から具体的な要素^{のぞ}を除いて形式化する
- ・ 個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

○関係づけ

- ・ 情報どうしを結び付ける
- ・ 要素間の意味^{とら}を捉え、情報^{きぎな}を補う
- ・ 部分と全体のそれぞれが互^{たが}いに与えあう影響^{えいきやう}に目を向ける
- ・ ある目的^{しゆだん}のための手段^{しゆだん}となることを見つけ出す

○推論^{すいろん}

- ・ 情報をもとに、論理的^{ろんりてき}な帰結^{きぎつ}を導き出す
- ・ 情報をもとに、未来^{かこ}・過去^{よそく}のことを予測する
- ・ 情報を活用して、さらに別の情報を引き出す

小学5年 基礎力テスト(国・算) —— 解答と解説

算数 (国語と算数あわせて40分)

1

(1)	3524	(2)	2000	(3)	8
21		22		23	
(4)	1.55	(5)	1.04	(6)	$8\frac{6}{7}$
24		25		26	

2

(1)	2700	(2)	510	(3)	長方形					
27		28		29						
(4)	①	1人分	11	こ	あまり	5	こ	②	229	こ
(完答)30										31
(5)	①	面	工	②	108	cm				
32				33						

3

(1)	12	cm	(2)	9	cm	(3)	84	cm
34		35		36				

4

(1)	13500	円	(2)	6000	円	(3)	285	本
37		38		39				

国語

(国語と算数あわせて四十分)

問九
A
二
年
生
B
母
の
日

(完答) 53

問七
イ
問八
エ

51

52

問三
②
ア
③
ウ
問四
エ
問五
エ
問六
ウ

46

47

48

49

50

問二
わ
た
し
に
は

45

問一
a
悪
b
静
c
足元(足下)
d
一輪
e
内側

40

41

42

43

44

(配点)

算数

① 各2点×6=12点

② (1)~(4)各2点×5=10点 (5)各3点×2=6点

③ (1)3点 (2)(3)各4点×2=8点

④ (1)3点 (2)(3)各4点×2=8点

国語

問一……各2点×5=10点

問三……各3点×2=6点

問六……4点

上記以外……各5点×6=30点

計100点

【解説】

② いろいろな文章題

(1) **A1** 知識 再現する

「百の位まで」→十の位が5なのでくり上がり、2700

(2) **A1** 再現する

もとの数は「商×わる数+あまり」で求められます。 $40 \times 12 + 30 = \underline{510}$

(3) **A1** 知識 特徴的な部分に注目する

2本の対角線の長さが等しく、2本の対角線がそれぞれの真ん中の点で交わることから、長方形か正方形です。ただし、2本の対角線が交わる角度は 60° で、^{すいちよく}垂直ではありません。よって、この四角形は長方形であるとわかります。

(4) **A2** 情報を獲得する 再現する

① $291 \div 26 = 11$ あまり5より、配る数11 (こ)、あまり5 (こ)

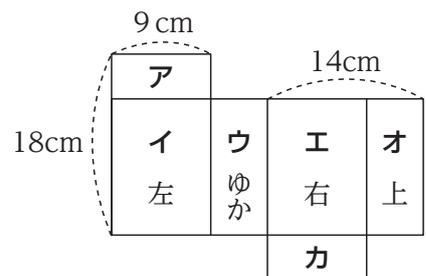
② ふえた後の1人分のチョコレートは、 $11 + 9 = 20$ (こ)

AとBのチョコレートの合計は、 $20 \times 26 = 520$ (こ)

よって、Bのチョコレートは $520 - 291 = \underline{229}$ (こ)

(5) **A2** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

① ^{てんかいず}展開図のウの面を自分がすわっているゆかにおきかえると、面イは左のかべにあたり、平行な右のかべは面エとなります。



② 面アの横の長さ=面イ・エの横の長さ=9 cm

面オの横の長さ=面アのたての長さ=14-9=5 (cm)

面イのたての長さ=18-5=13 (cm)

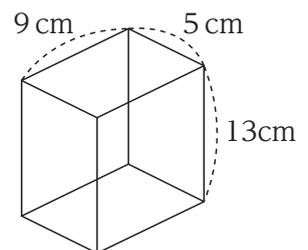
展開図をくみたとすると右の図のようになり、

たて、横、高さは、5 cm、9 cm、13 cm

3本の辺の長さの和=9+5+13=27 (cm)

それぞれの辺は4本ずつあるので、

立方体の辺の長さの合計= $27 \times 4 = \underline{108 \text{ cm}}$



③ 長方形と正方形

- (1) **A1** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

のこった四角形の4つの辺の長さはすべて、長方形のたてと横の長さの差になっていて等しいので、のこった四角形は正方形。

正方形の面積 = (1辺) × (1辺) = $9\text{ cm}^2 = 3 \times 3 \Rightarrow$ 1辺の長さ = 3 cm

まわりの長さは $= 3 \times 4 = \underline{12\text{ cm}}$

- (2) **B1** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

大きな正方形の面積 = $18 \times 4 + 9 = 81\text{ (cm}^2\text{)} = 9 \times 9$ より、9 cm

- (3) **B2** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

右の図のように、切り取った正方形の1辺の長さは、1つの長方形の長い方の1辺アと短い方の1辺イの長さの差になり、また、アとイの長さの和はもとの正方形の1辺の長さの9 cmです。アとイの関係を線の長さで表すと右下の図のようになり、

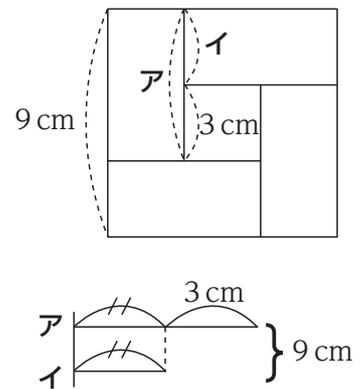
$\text{イ} = (9 - 3) \div 2 = 3\text{ cm}$ $\text{ア} = 3 + 3 = 6\text{ cm}$

長方形のまわりの長さ = $(6 + 3) \times 2 = 18\text{ (cm)}$

まわりの長さの合計 = (長方形が4つ) + (正方形)

長方形が4つ = $18 \times 4 = 72\text{ (cm)}$

まわりの長さの合計 = $72 + 12 = \underline{84\text{ (cm)}}$



④ 折れ線グラフとぼうグラフ

- (1) **A2** 情報を獲得する 再現する

折れ線グラフより、チューリップ1本のねだん = 90円

ぼうグラフより、買ったチューリップの本数 = 150本

合計金額 = $90 \times 150 = \underline{13500\text{ (円)}}$

(2) **B1** 特徴的な部分に注目する 置き換え

4月の合計金額は、 $85 \times 200 = 17000$ (円)

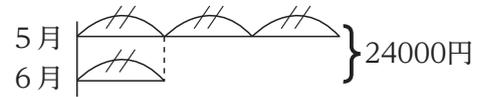
3月と4月の合計金額は、 $13500 + 17000 = 30500$ (円)

よって、5月と6月の合計金額は、 $54500 - 30500 = 24000$ (円)

5月と6月の合計金額の関係を線分図にすると、

右のようになり、6月の合計金額は、

$24000 \div 4 = \underline{6000}$ (円)



(3) **B2** 特徴的な部分に注目する 順序立てて筋道をとらえる

(2)より、5月の合計金額は、 $6000 \times 3 = 18000$ (円)

5月の本数は、 $18000 \div 80 = 225$ (本)

一方、6月の本数は、 $6000 \div 100 = 60$ (本)

よって、5月と6月の本数の合計は $225 + 60 = \underline{285}$ (本)

【解説】

いとうみく「五月の棘」(光村図書)から出題しました。幼くして母親を亡くした「かわいそう」な子として、周囲から、さまざまな形で気を遣われてきた「わたし」。「かわいそう」と思われることに息苦しさを感じ、傷ついてきた「わたし」は、自分より大変な境遇の中田君と出会い、何の気なしに適当なぐさめの言葉をかけます。その後、中田君には母の日にカーネーションを渡す相手がいるということを知り、ショックをうけます。その時、自分がこれほどショックなのは、中田君を自分より「かわいそう」な人だとして、つきあっていたからだと気づきます。自分の中の暗い部分を知った「わたし」の心情を丁寧に読みとりましょう。

問一 A2 知識

四年生までの漢字を問う問題です。①「悪びれ」もせず、とありますが、「悪びれる」とは、気後れしたり、はずかしがったりして、きまり悪そうなようすをすること。多く「悪びれない」「悪びれもせず」のように下に否定の語がつきます。

問二 B1 理由 推論

——線①の「五月」は、この話においてどのような月かというところ、「母の日」がある月です。——線①の次の段落から、「わたしの周りのおとなたちは…ピリピリしはじめる」ということについてのエピソードが「最初にあれ？」と「思ったのは…」と始まります。そして読み進めていくと、——線⑤の直後に「そのとき、ああそうかと思った。おばあちゃんは母の日がきらいなんだ…わたしには母の日をお祝いしてあげるお母さんがいないから」とあります。五月に「おとなたち」が「ピリピリ」する原因を、「わたし」はここで知るのであります。

問三 B1 知識 関係づけ

②「一段落目に、おとなたちが「わたし」にしたことは「思いやりとか、優しさから発せられている」とあるので、ここにマイナスの感じがする笑いの表現は入りません。

③「さめざめ」はしきりになみだを流して泣く様子を表します。ここはおばあちゃんが、母を亡くしたふびんな孫娘のことを思って泣くときの表現を入れる場所なので、ア「ぎゃあぎゃあ」エ「わんわん」のように、子供

が駄々をこねて泣くような表現は不適切だといえるでしょう。

問四 B1 理由 推論

——線④の直後「気になりながらテレビをみていたら…保育園に電話をしているんだってわかった」とあるので、おばあちゃんは「わたし」が夢中になったのを見計らってから保育園にクレームの電話をかけたことがわかります。母のいない子もいるのに、母の日の絵を描かせるのは、何事か、という電話でしょう。そのことは、——線⑤の六文後の「年長のときは、先生から『おばあちゃんのお顔を…』とは言われなかった。…みんなも、お母さんの絵を描かなかった」という表現からわかります。このような内容の電話を「わたし」が聞くことさらに傷つくと思ったから、おばあちゃんは「電話を持って廊下に出た」のでしょうか。ア「わたし」が家でなげき悲しんでいる」という表現は本文中にはありません。イ「テレビのアニメ番組の音がうるさく」とまでは読み取れません。ウ「保育園に言いたいのは『わたし』が母親の顔を知っている」ことではありません。

問五 B1 理由 推論

ポイント「わたし」が描いた絵は「一番目立つところ」に貼ったのに、先生が装飾してくれた「リボンと赤い花はゴミ箱に捨てた」ということです。「わたし」の気持ちはありがたく受け取るけれど、先生のことには許さないという気持ちが表れています。ここから答えはエです。ア「おばあちゃんはお母さんのような存在だ」ということをわかってもらいたい、イ「わたし」がお母さんではなくおばあちゃんの絵を描こうと思ってくれた、ウ「保育園の先生は敵だが…は味方」の部分がそれぞれ不適切です。

問六 B1 知識 推論

⑥の直前に「こんなにも悪びれもせず、人のことを「かわいそう」と言えてしまうってすごい」とあります。思ってもふつうは言えないし、言わないようなことをまりちゃんがズバリ言ったことに対して、気を遣われることに傷ついてきたわたしは、ある意味感動しているのです。ア「いたいたしさ」・エ「にがにがしさ」は入りません。イ「こうこうし」い、とはとうとく、おごそかな感じがする、という意味ですから、これもあてはまりません。

問七

B1 関係づけ 推論

——線⑦で「わたし」は、幼いときに母親に家を出ていかれ、写真すらない中田君に対して、なんのためらいもなく、「いつか会えるよ。会えるといいね」と言っています。中田君も「小さく笑った」とあることから、「わたしのことをなぐさめか、はげましか、とりあえず受け入れたと読み取れます。このやりとりで「わたし」のどんな気持ちがあったかは、後になって気づく、というのがポイントです。読み進めると、「お母さんの写真もない中田君は、わたしよりかわいそうだったから」という部分があります。「お母さんの写真もない」「かわいそう」という言葉から、中田君より「わたし」の方がましだ、上だ、という気持ちを読み取れます。ですから、ふびんだから軽くはげましておいた、というのが実態でしょう。ア「うらんでいる」「会えばその気持ちもかわると伝えたい」、ウ「中田君のことがうらやましく」、エ「中田君が…母親と…会えると信じている」などの部分が本文からは読み取れません。

あとです。

問八

B1 関係づけ 理由 推論

——線⑧の直前に「会えるといいね」とあり、直後に「いつだったか…かわいそうだったから」とあることから考えましょう。そこには、自分が中田君に「会えるといいね」など実現しそうなことを言ったのは、中田君のことを「かわいそう」な子だと思っていたからだとして示されています。「わたし」は、中田君にカーネーションをあげる相手がいることを知り、その場から立ち去りました。そして、「どろどろとしたなかで、からだの中にしみだしていく」という表現から、「わたし」の中に暗い気持ちが生じたことが読み取れます。それは、中田君にカーネーションをあげる相手がいることを受け入れられないという心境であると考えられます。なぜ受け入れられないかという点、今まで「わたし」の中では、中田君は自分より不幸な境遇の、かわいそうな子であるべきだったからです。自分の中に、だれかをかわいそうな子として見たり、「かわいそう」だからとその場しのぎのことはかけたりするような、みにくい気持ちがあることに気づいた時の衝撃が、「どくん」と心臓が音を立てた」という表現に表れています。

問九

B1 関係づけ

「あのあと」は、中田君がカーネーションを買っていたのを、わたしが見た日のあと、ということですから、二人が小学二年生のときの母の日の